

第6回国際成人教育会議のための国内「草の根会議」 第5回会合 記録(三宅)(荒井追記)

2010年1月20日(水) 午後6時半~9時半@法政大学

議題・司会 荒井 記録 三宅

参加者: 荒井、野元、布施、三宅、小荒井、湯本、除村、持丸

1. 市民社会フォーラムの報告

- ・ 市民社会フォーラム: 80カ国から800人が参加。ラテンアメリカからの参加者が中心。全体会とラウンドテーブル、ロビイング戦略で構成。
- ・ CSOの提案書、ロビイングの戦略を検討、合意した。提案書は10項目にまとめた。ロビー戦略は、本会合でCSOメンバーが可能な限り提案内容を発表、提案書を政府代表が修正案として提出するように働きかけ、政府代表団に入っているCSOメンバーによる活動、起草委員会にCSO代表がオブザーバーとして入る(ASPBAEとAction Aidの2名が入った)。

2. 本会合の報告

- ・ 成果文書については、公民館、CLC、成人教育指導者の役割について草案では言及がなかったため、草の根会議が日本政府に提案したが、起草委員になられた日本政府の尽力もあって、盛り込まれた。市民フォーラムによる10項目の提案内容のうち約半分程度盛り込まれた。
- ・ 日本政府による公民館についてのワークショップ: 日本の公民館、ドイツのホルクホイスクーレ、タイのCLCの事例発表があった。

3. これまでの活動の経費確認

- ・ CD代、印刷代などで2万円程度かかっている。EFの残金で支弁する。三宅が荒井さんに精算方法を連絡する。

4. 『市民社会組織レポート』の取扱い

- ・ ハードコピーは残部なし。CD残部(表を帰国後印刷したもの)は約50部ある。
- ・ 誤字脱字等の修正を行い、「歩み」未訳部分の追加版を第2版作成として作成することを合意した。今後、配布、ホームページにアップするとともに、報告会、学習会等で活用する。

5. 報告会の開催について

- ・ 対象は主に草の根会議メンバー、内容は、成人教育会議の成果と市民レポートの発表とする。4月10(土)か11日(日)に法政大学で開催。40名規模収容の会場。詳細は、運営委員会でつめる。発表は、会議の概要、成果文書の意義、市民レポートの発表(ベレムの成果文書と照らし合わせて)。
- ・ 早急の課題は、成果文書の翻訳。
- ・ 村上さんに映像の上映を依頼する(野元さんが依頼)。
- ・ 報告会のプログラム案を荒井さん

6. 国立教育政策研究所主催 フォロ・アップ・セミナー

- ・ 「国際成人教育会議をふりかえって」。2010年2月19日10時~5時。「草の根会議」への報告依頼があった。荒井さんにご報告いただくこととなった。

7. 会議報告書の作成

- ・ 成果文書: 小荒井(financing.governance)、その前後を布施さん、河野(声をかける)(その後の調整で、会合出席者への会議後の承諾のもと、`participation, inclusion and

equity' 以降の部分は荒井が担当することになりました。

- ・ CSO の提言書、評価声明（三宅）
- ・ プログラム（野元）
- ・ Learners Charter（荒井）
- ・ 翻訳を担当した人の記名をするかどうか、「草の根会議」とするかどうかは要検討。
- ・ その他の翻訳候補文書については野元さんが作成。
- ・ 次回の会合で、成果文書の訳、意義を議論する。
- ・ 報告書構成案は三宅が作成

8 次回の会合日程

第4回運営委員会として開催

3月4日（木）か5日（金）

議題は、 報告会の企画、 成果文書の訳文と意義の検討。

3月4日に開催することになりました。

時間 午後2時～5時

会場 法政大学市ヶ谷キャンパス ポアソナ - ドタワ - 16階 社会学部資料室内 会議室